

【企業・団体名】 株式会社 南日本銀行

代表者 : 取締役頭取 田中 暁爾

事業内容 : 普通銀行業務

所在地 : 鹿児島県鹿児島市山下町1番1号

従業員数 : 859 名(男性 443 名、女性 416 名)

イクボス宣言をしている場合、宣言者とその年月日:常務取締役人事総務部長 松下 弘志(当時)

/2017年11月8日

【会社の取り組み(過去1年間の取組をご記入下さい。)

①従業員の子育てをはじめとするワーク・ライフバランスに配慮した取組について

【長時間労働の縮減の促進】

○ノー残業デーの実施

・・・特定日(月初、25日、月末3営業日)を除く毎週水曜日にノー残業デーを実施

○ノー残業週間の実施・・・毎年8月、2月の年2回、ノー残業週間を実施

○行内PCの強制シャットダウンを19時に設定・・・業務効率化に努め、行職員の時間外労働抑制に繋がっています。

【休暇の取得推進】

○半日単位で有給休暇を取得できる制度を導入しています。

○様々な勉強会の中で、各役職員の有給休暇取得状況や、取得促進を促すよう指導しています。

【育児と仕事の両立支援】

○育児休業制度や育児と仕事の両立に関して、管理職への教育、役職員への制度周知等により、職場の理解促進に取り組んでいます。

○育休取得者の復帰支援

復帰時に不安点のヒアリングや規定・規約の変更点などを共有する面談や研修を実施

○育児のための勤務時間短縮制度

子が小学校2年生まで勤務時間短縮可能

②業務効率を上げるための取組について

○DX化、システム化の推進

DX(デジタルトランスフォーメーション)やフィンテックをすすめることにより、お客さまの利便性向上を目指すとともに当行経営の全ての領域で構造改革を加速させ業務の合理化・効率化を目指しています。

<お客さまの利便性向上>

ペーパーレス・印鑑レス・通帳レス・記入レスへの取組み、スマートペイメントの取組み 他

<業務の合理化>

タブレット端末の全営業店導入、次世代店舗の導入、ネットワーク上での各人スケジュールの管理 他

○業務改善・効率化提案箱の設置

全役職員が各業務において改善・効率化できる項目・方法を随時提案できる専用フォームを設けています。

提案された項目を司る担当本部が主となり、期限を決めて改善化に向けて取り組みます。

③取組のアピールポイントについて

【育休取得者の復帰支援】(新規)

○復帰前に業務と育児の両立におけるフォロー

○育休中の事務規程の改廃事項の確認と面談や復職前研修及び復職後の業務サポート

【これまでの実績】

○時間外労働の状況	9.8時間
○有給休暇の平均取得日数	12.9日
○育児休業取得率	女性：100.00%、男性：67.86%

※すべて2022年度実績

【社員の声】

○育休明けの仕事復帰に対しては不安だらけだが、不安点のヒアリングや規定や手続きの変更点などを共有できる面談や研修があり、復帰する際に非常に心強かったです。復帰後も、早く帰れるよう周りにサポートいただいたり、子どもの体調不良の際は急遽休暇をいただいたり、復帰後も家庭と仕事を両立できるよう助けてもらっています。

○柔軟な働き方ができるよう行内の制度が整備されており、育休中の諸手続きのサポートや復帰に向けてのケア、復帰後の業務サポート等ありがたく思っております。

【今後の取り組み・目標】

○男性に対する育休取得の促進
2027年3月末までに、男性の育児休業取得率100%を目指します。

○女性活躍
2027年3月末までに、次長・支店長代理・係長級に占める女性割合を38%以上とします。